

「第8回市民ワークショップ」を開催しました！

8月1日（土）、昨年11月から始まった「まちづくり市民会議（市民ワークショップ、全8回）」の成果発表会が開かれました。今回は、学生やNPO団体、関係機関のメンバーなど30名が参加し5班に分かれて、「私たちは、宮古のまちなかで、こんなふう過ごしたい！」というテーマで、紙芝居形式のシナリオを作り、1つのストーリーとして完成させました。演劇による発表や、4人家族の1日を描いた物語など、様々なプレゼンテーションが行われ、山本市長から、「どの班のアイデアも実現可能だと思う。宮古を良くしたいという思いは共通だと感じた。皆さんの思いを実現できるように取り組んでいきたい。」と講評がありました。

弘前大学の北原啓司教授は、「始めは施設重視の考え方が多かったが、多様な主体が楽しめる場所としてのアイデアが出されるなど、変化が見られたのは良かった。高校生にも参加してもらったが、進学・就職などで地元を離れた若者が戻って来なくなるような“まち”に育てていくことが重要です。」と語りかけました。

県立大学宮古短期大学の植田眞弘学部長から、「若い人たちのアイデアは、“まち・ひと・しごと”といった地方創生を考えるうえで参考になるのではないか。」との助言いただきました。

座長を務めた県立大学盛岡短期大学の内田信平准教授からは、「今回で一区切りだが、これで終わりではなく、「拠点施設」「現庁舎の跡地」や「森・川・海の地域素材」を活かせる“まち育て”について、今後も議論していきたい。」と展望が語られました。

第8回ワークショップの開催状況

日時 平成27年8月1日（土） 14時00分から17時00分まで
場所 宮古市役所 本庁舎6階大ホール
参加者 30名
内容 市民ワークショップ テーマ「シナリオづくり～まち育て戦略会議ワークショップ」

座長 県立大学盛岡短期大学部生活科学科 准教授 内田 信平 氏

総評 弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 北原 啓司 氏

講評 県立大学宮古短期大学部 学部長 植田 眞弘 氏

宮古市長 山本 正徳

